

| | |
|-------------|---|
| Title | 表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか |
| Author(s) | |
| Citation | 物性研究 (1999), 72(5): 728-728 |
| Issue Date | 1999-08-20 |
| URL | http://hdl.handle.net/2433/96668 |
| Right | |
| Type | Others |
| Textversion | publisher |

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成11年8月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第72巻 第5号

ISSN 0525-2997

vol.72 no.5

物性研究

1999 / 8

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 69 (1997), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率 約86%)
 - 2) マージンは、上下各約3 cm、左右各約2.5 cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

最近の大学の動きを見ていると、もはやダッチ・ロール状態にあるのではないのかと錯覚する程である。ここ京都大学でも第3キャンパスを桂に買うという話が出たかと思うと、数日後に白紙撤回、またすぐ副学長二人の辞任等という事件が矢継ぎ早に起こった。またここ数年の間に名前を聞いただけでは何をやっているのか理解出来ない新研究科も次々に設置されている。こうした研究科は既存の組織の寄せ集めだけに、複雑な内部構造になっている。最近の政党の再編のように名前を覚える前に再編、という事にならなければならないと思っている。一連の動きは拙速に過ぎ、失敗が宿命づけられているように感じる。

そもそも第3キャンパスや新研究科の乱造は大学の独立行政法人化の流れと無関係ではないそうだ。殆んどの大学人は大学の独立行政法人化を望んでいないと思うが、そうした希望や意見の通らない処で物事は決まっていく。どうやら国家公務員の削減をしなければならず、郵便貯金の民営化失敗のつけが大学の方に回ってきたらしい。では国家公務員を何で削減しなければならないかと言えば、今までの失政のつけで財政が破綻しているからである。そうやって考えると一連の動きにしらけてしまう。

大体、この処、文部省のやっていることは失敗ばかりであろう。教養部の解体の完了後にオウム事件が起こって、「基礎教養科目の充実」を図ったり、大学院の重点化に伴って、学問のレベルダウンと大量の失業者予備群を作り出したりしている。これらの動きも現場の意向とはほぼ無関係に舟に乗り遅れるな、とのかけ声で起こった事である。当時とはともかく、現在はこれらの出来事を肯定的に評価する人は少ないだろう。

現在の動きは、更に低レベルである。教養部の解体や重点化はそれなりの要求があって、必然性も感じられたのだが、独立行政法人化には殆んどそうしたものは感じられない。まして名前を聞いても理解できない様な研究科の設立に意義は全く感じられない。しかし現実こうした動きはとまりそうもない。大学に関係ないところではもっと危険な法案がどんどん通っているが、そこでも訳の分からない流れは止められない。まさに世紀末である。

個人的には政治の話は興味がない。否応なく巻き込まれている現状を嘆いているだけなのである。むしろ学問に関心を集中出来ることを期待している。また世紀末というのであれば1900年のクリスマスにあった様な事が起こることを期待している。勿論、自分がサンタ役になれば言う事はないのだが。

(H. H.)

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
水口 毅 (京大・理・物理)
山田 耕作 (京大・理・物理)
吉村 一良 (京大・理・化学)
早川 尚男 (京大・人環)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)
本堂 毅 (東北大・理・物理)
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (東大・物性研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
山田 鏑二 (信州大・理・物理)
平田 文男 (分子科学研)
吉岡 英生 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第72巻第5号 (平成11年8月号) 1999年8月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
水口 毅 (京大・理・物理)
山田 耕作 (京大・理・物理)
吉村 一良 (京大・理・化学)
早川 尚男 (京大・人環)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)
本堂 毅 (東北大・理・物理)
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (東大・物性研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
山田 鏑二 (信州大・理・物理)
平田 文男 (分子科学研)
吉岡 英生 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第72巻第5号 (平成11年8月号) 1999年8月20日発行

| | | | |
|-----|---------|-----------|-------------------------------------|
| 発行人 | 村 瀬 雅 俊 | 〒606-8502 | 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内 |
| 印刷所 | 昭和堂印刷所 | 〒606-8225 | 京都市百万遍交差点上ル東側 TEL(075)721-4541~3 |
| 発行所 | 物性研究刊行会 | 〒606-8502 | 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内 |

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

| | | |
|-----|-----------------------|----------|
| 年会費 | 1st Volume (4月号～9月号) | 4,800円 |
| | 2nd Volume (10月号～3月号) | 4,800円 |
| | | 計 9,600円 |

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類 (請求、見積、納品書) が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075) 722-3540, 753-7051

FAX (075) 722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 72-5 (8月号) 目 次

○講義ノート

「高分子の相転移とダイナミクスー統計力学理論と

シミュレーション」.....川勝 年洋..... 555

○修士論文(1998年度)

UPt₃ および URu₂Si₂ の高分解能角度分解光電子分光

.....伊藤 孝寛..... 670

高分解能光電子分光装置の建設と高温超伝導体フェルミ準位

微細電子構造.....佐藤 宇史..... 689

○修士論文題目(1998年度)..... 704

○編集後記..... 728

物 性 研 究 72-5 (8月号) 目 次

○講義ノート

「高分子の相転移とダイナミクスー統計力学理論と

シミュレーション」.....川勝 年洋..... 555

○修士論文(1998年度)

UPt₃ および URu₂Si₂ の高分解能角度分解光電子分光

.....伊藤 孝寛..... 670

高分解能光電子分光装置の建設と高温超伝導体フェルミ準位

微細電子構造.....佐藤 宇史..... 689

○修士論文題目(1998年度)..... 704

○編集後記..... 728